



●本日4月7日(金)のプログラム

◎スピーカー：舟本 秀男氏(財界さっぽろ 代表取締役)
「北海道開拓の先駆者 榎本 武揚」

●来週 4月15日(土)のプログラム

◎移動例会「小樽市立病院給食について」
「小樽市立病院の概要について」
講師：渡辺 恵子 様(小樽市立病院医療技術部主幹(栄養管理担当))
講師：柴田 隆一 様(小樽市立病院地域医療連携室主幹)

●再来週 4月22日(土)のプログラム

◎IM 点鐘 13:30
俱知安ホテル第一会館

2016-17年度 地区目標

- 地域と共に活動を
- 地域組織の活性化
- 地域と共に

●2015-2016年度 IRテーマ



Rotary
Serving
Humanity
人類に奉仕する
ロータリー
2016-17年度IR会 ジョン・ジャーム

上野年度信条

きやつかしようこ
脚下照顧
足下を照らして顧り見る
(自分の足下を見る)

35
2017年4月7日(金)発行
通巻 第2785号
1960年創立
昭和35年2月5日

●第34回例会報告 3月31日(金) クラブフォーラム「特別検討委員会」アンケート発表

●司会/柴田副会長

■ロータリソング ■ 「日も風も星も」

■ゲスト・ビジターの紹介■

泉 侑 氏 (小樽RC会長)
エミリア・ニューヒラ さん(国際ロータリー第2510地区交換留学生・フィンランド)

■会長挨拶 ■ 上野会長

○泉小樽RC会長、フィンランドからの交換留学生 エミリアさん、ようこそ当クラブへご臨席いただき有難うございます。後ほどお二人からお話をいただきたいと存じます。そのあと、クラブフォーラムがありますよろしくお願ひいたします。

■幹事報告 ■ 三栖幹事

- 4/15 (土) 開催「健康セミナー移動例会」小樽病院の駐車場が使えますので、会員皆様の奮ってのご参加をお願い致します。
- 4/22 (土) 俱知安で開催の「IM」へ、小樽RCと同じバスにて同行する予定となっております。
- 来週例会プログラムは、財界さっぽろ 舟本 秀男 代表取締役の演題「北海道開拓の先覚者 榎本 武揚」となっております、ご期待下さい。

■委員会・同好会報告■

◎社会奉仕委員会 高木(成)会員

○来る4/6(木)午前9時30分より小樽駅前にて「春の全国交通安全運動」が開催されます。
多くの会員皆様のご賛同をお願いいたします。

◎会員親睦委員会 斎藤委員長

○4/22(土)開催の「夫人のつどい」へ多数のご参加をお待ち申し上げております。クラシック音楽の「ピアノの調べ」に心癒された後、旧板谷邸「小樽 海宝楼」にて、小樽地鶏御膳を食し、ワインなど傾けながら、楽しい交流の時間もっていただこうと思っておりますが、現在、当クラブ佐藤(友)会員・松尾会員含めて7名の参加をいただいておりますが、多くの会員奥様のご参加をお待ち申し上げます。

◎SAA委員会 松尾会員

○4月からの新しい座席の件でご連絡させていただき

- ます。4月・5月・6月の新しい席は、「算命学」の占いの元に、皆さんの席を決めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

●本吉会員

- ○平成 23 年 7 月に入会させていただき、本日で 5 年と 9 ヶ月 となりますが、本日 3/31 日付けで会社の方も退社となり 当クラブの退会ともなりましたが、私にとりまして大変有意義な日々を過ごさせていただき 本当有難うございました。今後は、ゴルフ同好会には 準会員として参加を認めていただけるとの事で引き続けて参加させていただきたいと思ひます これからもよろしくお願いいたします。

●◎入船村会 湊会員

- ○4/3 (月) 大和家本店にて、入船村会を開催。



●出席委員会

●平成 29 年 3 月 3 1 日

● 会員総数 65 名 本日の欠席者 8 名
● 荒木、佐藤(喜)、佐野、柴田、野村、林、濱本、前川

●平成 29 年 3 月 17 日 (金)

● 会員総数 65 名 出席摘要免除者 12 名
● 病欠者数 名 出席計算員数 名
● ホーム欠席者数 13 名 メーカーキャップ 0 名
● 純欠席者数 13 名 確定出席率 75%

クラブフォーラム「特別検討委員会」アンケート発表



三栖幹事

ある程度 特別検討委員会に一任される流れにはなっておりますが 本日のフォーラムに於いて 会員皆様の数々のご意見を取り纏め、再度 特別検討委員会で諮り、その結果を理事会に上申し、決定したことを会員皆さまに報告する形をとりたいと考えております。

2週間位前に、配布いたしました「小樽南ロータリークラブ細則・定款」の現行→改定案の資料に基づき、フォーラムを進めて行きたいと思っております。

会員皆さまの自由な発言をお願いいたしますが、時間等の関係上、配布しております用紙にご意見等を記入して提出していただければ 特別検討委員会の参考資料にしたいと存じます。

※2/28 会員アンケート結果の中で、例会開催会数の回答は、従来通り月4回程度 20名、月3～4回程度 17名、月2～3回程度 15名、無回答 13名 計65名との回答を得ております。

■大黒屋会員（特別検討委員会委員）

非常に僭越ですが、特別検討委員会で「改定案」を理事会に提出して、理事会において諮りどうするかを判断する事が望ましいと考えますが、会員皆さんに伺って下さい。（拍手で承認）



■バナー交換 上野会長



■ご挨拶 泉小樽RC会長

○いつもお世話になっております。

本日は、交換留学生エミリア・ニュリヒラさん（17歳）のご紹介を兼ねてお邪魔させていただきました。先ほど交換いたしましたバナーは、エミリアさんがフィンランドから持参しました3本の内の1本を、小樽南RCへ贈呈させていただきました。



エミリア・ニュリヒラさん



みなさんこんにちは！フィンランドから来ました。5年間日本語を勉強しましたが、本日は大変緊張しています。日本の様々な文化に浸り、着物も着させてもらい、ロータリーの皆さま方に大変お世話になっており有難うございます。

クラブフォーラムにて 廣瀬会員



2016年4月9日～15日に、開催された「規定審議会」によって決められた「制定案」をイエローページにて説明しましたので、その流れで今回、定款についてお話致します。定款はいずれのクラブからも、反対の意思表示がありませんでしたので、2016年7月1日から効力を生じています。また、改正につきましては、規定審議会に出席し投票した人の過半数によってのみ改正することができます。

説明に入る前に、なぜ変更が必要だったのか、若干お話致します。

一部の国や地域でロータリーが急速に成長している一方で、会員数の減少や会員平均年齢の高齢化といった問題に直面している国や地域もあります。

これまで15年間、ロータリーでは、会員資格、職業分類、クラブ運営に革新性を取り入れた試験的プログラムを実施してきました。これらの試験結果や会員からの報告によると、例会方法、会員資格、クラブへの参加方法などについてクラブが決定できる柔軟性が多ければ多いほど、クラブに活気が生まれ、成長する傾向にあることが分かりました。

今回の規定審議会の決定により、すべてのロータリークラブは、**例会や出席クラブの構造、会員種類**について、規定審議会が承認した新しいオプションを取り入れて**クラブ細則**を修正することが可能となります。ただし、**これらの変更を加えないことを選択するクラブは、従来と同じ方法を取り続けることができます。**

クラブに以下の裁量を、与えられました。

- ・例会の曜日と時間を自由に決定する
- ・必要に応じて例会を変更または中止する
- ・奉仕プロジェクトまたは社交行事を「例会」とみなす
- ・直接顔を合わせる例会、オンラインでの例会、その両方を交互に行う例会、あるいは両方の方法を同時に用いる例会
- ・出席要件、または出席要件を満たさなかった会員の終結に関する方針を緩める、または厳しくする。

クラブは、少なくとも月に2回、何らかの方法で例会を行う限り、例会頻度を減らすことができます。ただし、各月の最終例会後15日以内に月次報告をガバナーに提出するという要件は変わりません。

これらの規定審議会の決定は、**標準ロータリークラブ定款の現行の規定に変更を加えるものではありません。**例会や出席、クラブの構造、会員種類について変更を採用することをクラブが選択する場合、**クラブ細則を修正する必要があります。**一方でこれらの変更を加えないことを選択するクラブは、従来と同じ方法を維持することができます。

●まごころ箱 いつも有難うございます！

- 泉小樽RC会長 交換留学生 エミリア・ニュリヒラさんと表敬訪問に参りました。
- 本吉会員 長い間お世話になりました。
- 工藤会員 3/30、小樽市立図書館へ、大正時代の児童文芸雑誌「赤い鳥」(全196冊・29万円相当)を寄贈させていただきました。
- 石川会員 お先に失礼します。
- 紺谷会員 お先に失礼いたします。

●まごころ箱入金集計額 (H28.7.8~H29.3.31)

3月31日分 17,500円 合計 **861,500円**